

令和7年度〔第2四半期〕 随意契約一覧

食農部

契約担当所属名	契約の種類	契約の名称 （概要）	契約の相手方		契約締結日	契約期間（履行期間）		契約金額（円）	随意契約によることとした理由		その他
			商号又は名称	所在地		始 期	終 期		適用条項 （地方自治法施行令第167条の2第1項）	具体的理由	
豊かな食と農の振興課	役務・委託等	令和7年度食品ロス削減にかかるWebサイト「奈良コレ」へのマッチング機能追加事業業務	能登印刷株式会社 関西営業所	大阪府池田市2-14-1 橋本ビル3階	令和7年8月8日	令和7年8月8日	令和8年2月27日	4,419,250	第2号	本件は、令和7年度食品ロス削減にかかるWebサイト「奈良コレ」へのマッチング機能追加事業の企画提案を募集するものであり、契約の性質が企画力を競うものであるため、プロポーザル方式により契約の相手方を選定したため。	
豊かな食と農の振興課	役務・委託等	次期奈良県食品ロス削減推進計画策定に係る調査及び策定支援業務	国際航業株式会社 奈良営業所	奈良市大宮町6丁目2番地10 奈良タカタニビル301	令和7年7月23日	令和7年7月23日	令和8年2月27日	4,840,000	第2号	本事業の目的を効果的に達成するため、効果的な計画指標の設定と、それを見据えた質問項目の設定が必要であり、県から単一の仕様を示すのではなく、プロポーザル方式により企画提案を求め、契約の相手方を選定したため。	
豊かな食と農の振興課	役務・委託等	マレーシアにおける県産のイチゴ、柿等プロモーション業務	株式会社KM International	宮城県仙台市宮城野区新田東2-12-3 ナイスサンソレイユ小鶴新田905	令和7年8月6日	令和7年8月6日	令和8年3月27日	4,000,000	第2号	本業務の目的を達成するためには、輸出に関する幅広い知識が必要だけでなく、海外事業者とのネットワークとコーディネート力が必要である。そこで、海外事情に精通した者から海外の消費者や実需者に訴求できる企画提案を求め、プロポーザル方式により、契約の相手方を特定したため。	
豊かな食と農の振興課	役務・委託等	令和7年度奈良県産農産物等輸出先国としてのシンガポールの有望性評価委託業務	株式会社WeAgri	東京都新宿区西新宿3丁目20-2 東京オペラシティタワー23階	令和7年8月14日	令和7年8月14日	令和8年3月27日	2,640,000	第2号	本事業の目的を効果的に達成するために、農産物の海外でのテスト販売あるいはプロモーション業務の実績を有する者から広く企画提案を求め、プロポーザル方式（公募型）により、契約の相手方を特定したため。	
豊かな食と農の振興課	役務・委託等	「奈良の食」に触れる機会の増加事業委託業務	株式会社雨風太陽	岩手県花巻市大通一丁目1番43-2 花巻駅構内	令和7年9月2日	令和7年9月2日	令和8年3月27日	4,895,000	第2号	事業の目的を効果的に達成するために、食に関するイベント業務に関心を有する者から広く企画提案を求め、プロポーザル方式（公募型）に基づき、契約の相手方を特定したため。	
担い手・農地マネジメント課	役務・委託等	企業の農業参入意向調査業務委託	奈良みらいデザイン株式会社	奈良市西新屋町43	令和7年8月8日	令和7年8月8日	令和8年2月27日	4,697,000	第2号	本業務は、本県の農業の特徴を踏まえ、参入意欲の高い企業を抽出・リスト化し、効果的なマッチングへつなげる目的で実施するものであり、高度な専門知識や創造性が求められる。よって、広く企画提案を求めるプロポーザル方式により契約の相手方を選定したため。	
農村振興課	役務・委託等	「飛鳥・藤原の宮都」の史跡周辺農村地域における農村資源の魅力継承検討業務委託	株式会社総合計画機構	大阪市中央区谷町2-2-22 NSビル6F	令和7年8月28日	令和7年8月28日	令和8年3月19日	4,895,000	第2号	「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産登録を見据えた魅力の向上と併せて、地域農業への理解と住民参加の推進に繋げる意味で、県から単一の仕様を示すのではなく、企画力やノウハウを持った専門業者からの企画提案を求め最適なものを特定し契約することが必要である。その結果、プロポーザル方式により契約の相手方を選定したため。	
農村振興課	役務・委託等	農村振興シンポジウム運営業務委託	インパクト株式会社	奈良市四条大路一丁目3番45号	令和7年9月17日	令和7年9月17日	令和8年3月19日	5,225,000	第2号	本シンポジウムを通じ、さらなる農村の魅力発見・発信の提供を図り、農村振興の農を活かした賑わいづくりの創出から地域農業の持続・継承に繋げる必要がある。当該業務の目的をより効果的に達成するためには、県から単一の仕様を示すのではなく、企画力やノウハウを持った専門業者からの企画提案を求め最適なものを特定し契約することが必要である。その結果、プロポーザル方式により契約の相手方を選定したため。	